

## 「人を変える力」

越前市南越中学校 3年 山下 桂乃子 (やましたかのこ)

みなさんは、努力する人にかっこいいと思ったことはありませんか。私は何度もあります。あの日の彼女の姿は、私の考え方を教えてくれるきっかけになったのです。

今からちょうど一年ほど前にあった、夏の吹奏楽コンクール前の部内発表会のことです。この発表会は、それまで練習してきたコンクールの曲を、初めて保護者の前で発表する、部の中に緊張感が漂う行事の一つです。その日は、ソロを担当している先輩が休んでしまい、先輩と同じパートである私の友人が代わりに吹くことになりました。彼女は内向的な性格で、あまり目立つことが好きなタイプではありません。本番まで一、二時間ほどしかなく、新しく入部した一年生や部員の保護者、先輩までもが注目するソロ。どれだけ緊張したことでしょうか。私には想像できないほどです。

そして本番を迎え、彼女のソロの出番が来ました。聴いている全員がその音に集中する張り詰めた空気の中で、彼女の音が音楽室に響きます。この短時間で、本気で練習したことが伝わってくる努力の音。彼女はソロを吹ききりました。全ての演奏が終わり、保護者も帰って、楽器の片付けをしている時、私は彼女に声を掛けに行きました。

「すごいね。かっこよかったよ。」

一、二時間しかない練習で、緊張しながら、初めてのコンクールの初めてのソロ。そしてあの仕上がり。それだけでも十分すごいことなのに、彼女は悔しそうに涙を流していました。その涙を見た時、なんで私はこんな言葉しか掛けてあげられないのだろうと思ったと同時に、この子の足を引っ張りたくない、私の音で支えてあげたい、そう思いました。その涙を、私は忘れないでしょう。

彼女は今でも努力し続け、この夏にあった最後のコンクールでのソロも必死に練習していました。その姿に手を引かれるように、一緒に演奏をしている私達も、より練習に励むようになりました。初めて、全員で合奏した時、彼女のソロを聴いて全員の目の色、意識がガラッと変わったような気がしました。この夏、全員がやる気に満ち溢れていたのも、彼女だけでなく、彼女の姿に感化された仲間が本気で取り組んでいたからです。

私も同じように、彼女が努力する姿を見て、もっと頑張りたいと思い、勉強も部活も今まで以上に本気で取り組むようになりました。でも、満足できるような結果は出ませんでした。みんながどんどん先に行ってしまうような気がして、挫けそうになることも何度もありました。私は頑張っても意味がないんだ。そんな風に考えてしまう時期もありました。

そんな時、「チャンスは準備された心に降りたつ。」という言葉に出会いました。この言葉は、結果が出ず、なかなか立ち直ることができなかつた私の心を支えてくれたものです。努力は必ず報われると言われることもありますが、実際はなかなか報われません。いつ報われるのかも誰にもわかりません。それでも、今ここで諦めてしまったら、一生追いつけないし、絶対に満足できる結果が出ることもない。準備をしなければチャンスも来ない。だったら今は、いつかの報われる日を信じて準備を、努力を続けるしかないじゃないか。そんな風に私の背中を強く押してくれた言葉を胸に、部活の練習も、日頃の勉強も諦めずに続けることができました。

こうやって私が今、努力を続けられているのも、彼女の努力を続ける姿を見てきたからです。努力はなかなか報われない、それを知っているからこそ、彼女を、努力する人を、何よりもかっこいいと思いました。あの時の彼女の姿が私に頑張るきっかけをくれたように、次は私がみんなを引っ張っていける存在になれるよう、精一杯努力しています。努力することには、周りをいい方向に引っ張る力、そして自分に自信をつける力があります。努力は報われないこともあるけれど、続けることに意味がある。たとえ、報われなかったとしても、努力した時間は絶対に裏切らない。絶対に自分の力になる。そう信じて、私は彼女のように努力を続けていきます。